

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	えいたいほのか		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 9日		2024年 9月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2024年 9月 9日		2024年 9月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間が子どもにわかりやすく構造化された環境になっており、また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切に行われている。	絵カード提示が必要な利用児にはそれぞれの個々のスケジュール表を提示している。全体にはその日のスケジュール(過ごし方)をホワイトボードで提示している。また、男女別のトイレを設置しており、一つは車椅子で入る事ができるスペースを有している。トイレの入口上部にイラストのトイレマークを表している。	今後も継続して利用児に合わせて環境を整えていく。さらに、ホワイトボードや絵カード、掲示物等の室内レイアウトの工夫も進めてまいります。
2	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている。	作成された放課後等デイサービス計画の内容は職員全員に伝わるよう確認してもらっている。また、毎日計画書に沿った支援実施後の様子の検証を行うミーティングを行っている。	常勤だけでなく非常勤職員全員に放課後等デイサービス計画を熟読・確認してもらおうようにしているが、不明点がある際には、必ず児童発達支援管理責任者に尋ねて分からない事は無くすようにしてもらおうようにします。
3	活動内容が固定化しないように過ごし方を工夫しており、ホームページやSNS等を用いてその活動の様子を動画や写真で保護者様に発信するようにしている。	障がい特性やその日の気分等により、出来ること、皆が楽しく参加できるように工夫している。また、Instagramを用いて、随時活動内容を外に向けて発信するようにしている。発信の際は、顔を含めて個人が特定されないように配慮している。	長期休暇を利用し、お出かけ(外出取組み)、季節イベント(ハロウィン、クリスマス等)を多く取り入れて固定化しないように意識している。また学校がある日は、月に一度のお誕生日会、工作、クラブ活動(パソコン、手話、運動)を取り入れている。発信ツールではInstagramだけに留まるのではなくホームページでも定期的に活動内容のブログをあげていくよう努力いたします。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者機関による外部評価の機会が少ない。	事業所内で定期的に書類の不備はないか?適切に書類の保管はできているか?計画書に沿った支援ができているか?安全対策はとられているか?等のチェックはできているが、第三者による外部評価を取り入れられていない現状である。	支援の質を維持・向上する施策を考えるために第三者機関による外部評価は一つの良い方法であると考えている。事業所内のできるチェックは継続して行っていきます。第三者機関を招いての評価においては引き続き法人単位で検討しております。
2	ご家族様の対応力の向上を図る観点から、家族様に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族様の参加できる研修の機会や情報提供を行っていない。	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)という具体的なプログラムの提供は行っていないが、送迎時等を有効的に使いその都度子どもの状況について情報共有し、相談しやすい関係作りに努め、家族支援を心掛けていきます。	今現在は年に一度の保護者会のみとなっているので、今後はこの会に合わせて外部講師を招き、ご家族様に対しての研修の機会を持つことを検討していきたいと思っています。
3	放課後児童クラブ・児童館との交流や地域の他の子どもと活動や、事業所の行事(イベント)に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営が図る事が不足している。	コロナ禍等もありその流れで現在も放課後児童クラブ・児童館との交流、事業所の行事に地域住民を招待する活動機会は全くと言っていいほどない現状です。	放課後児童クラブ・児童館との交流や地域住民を招待に関しては個人情報の保護や保護者様からのご意見等も取り入れながら参加の方向で検討をしていきたいと思っています。地域活動のゴミ拾い等があれば是非参加をしていきたいと思っています。地域の公園に遊びに出かけた際に遊具の順番を待つ等交流する場面はみられている。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	えいたいほのか					公表日	2024年 10月 30日	
					利用児童数	22名	回収数	14/22
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	2		1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1		2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	1		2		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1		1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12			2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12			2		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	1		5		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13			1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	4	1	5		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12			2		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	5	2	5		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	12	2		1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1		1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11			3		
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		6	3	5			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	2		3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1		2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	1		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	2		3	保護者向けに公式LINEがあれば良いかなと思います。	公式LINEの導入を検討します。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1		3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1		7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	3		3	他の子供とぶつかった（たたかれた）時に直接説明があったのでよかった。	事の大小を問わずに速やかな連絡、報告を心がけます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	2			いつもとても楽しみにしています。お出かけ等ふくめて製作や野菜作り、プール遊び等、家でしてあげられないことばかり。有難いです。	継続してお子様が事業所に安心して通所していただけるように努力し続けていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1			手話を覚えてくれるので、楽しく通えています。	手話をコミュニケーションの一つにしているお子様がいらっしゃるのでスタッフ全員が手話を学び、習得していくようにしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1		1		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		えいたいほのか		公表日		2024年10月29日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		6	0
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		3	3	利用状況によって人員配置を確保している。日々の支援中では手薄な所がないように常に気を配っている。	子どもの状況により1対1の職員配置が必要な場面が多くなれば、子ども全員に平等に職員をつける事が難しいと考えている。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6	0	絵カード提示が必要な利用児にはそれぞれの個々のスケジュール表を提示している。全体にはその日のスケジュール（過ごし方）をホワイトボードで提示している。また、男女別のトイレを設置しており、一つは車椅子で入る事が可能である。	今後も継続して利用児に合わせて環境を整えていく。さらに、ホワイトボードや絵カード、掲示物等の室内レイアウトの工夫も進めてまいります。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		6	0	活動スペースの清掃は毎日実施している。ジョイントマットを敷き、コーナーガードも設置しケガ防止の対策に努めている。また、空気清浄機を設置、使用している。	清潔空間にて気持ちよく過ごしてもらえよう努めてまいります。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5	1	子どもの特性や状況によって、過ごす場所を移動できるようにしている。	個々の障がい特性に合わせて、配慮のある空間づくりを進めていく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		6	0	職員が利用児と関わる時間をより確保することや事業所を適切に運営することを目的に、全職員で日々業務改善を進めている。特に、利用児に関する情報共有に力を入れており、全職員で現状の把握や目標の設定、対応方法等を話し合う時間を毎日確保している。	PDCAサイクルの意味を浸透させ、改善すべき事に対する考え方の順序等や仕組みを再学習していく必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6	0	集計結果を全職員で共有した後、業務改善に取り組んでいる。大きな改善がある場合は保護者様への説明も行うようにしている。また、年に1回の事業所評価だけではなく、日々の送迎時等を有効的に活用し要望を聞き取り、可能な限り対応を模索しながらより良い運営につなげていく。	職員会議は全職員が参加できる日に行うようにしており、職員によって支援方法等の違いがでないように留意している。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6	0	月に1回の全員参加の職員会議を設けている。その時に話にあがった内容は全て書面で残り周知を図っている。	月に1回の職員会議や日々の振り返りは怠ることなく継続して実施していきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	4	第三者による外部評価は行っていませんが、年に一回保護者様へのアンケートを実施している。	現段階では内部評価のみになっているが、今後は第三者による外部評価も検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		6	0	年に4～6回外部講師を招き、研修会を実施している。年に一度の虐待防止研修・身体拘束等適正化研修は参加している。	職員の資質向上を目標に、今後も定期的な研修参加を行ってまいります。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		6	0	長期休みの行事、プログラムの作成はできています。通常のプログラムの作成は順次行っている。公表は主にホームページのブログ欄にあげている。	ホームページのバージョンアップを早く進めていきたい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		6	0	最低6ヶ月に一度はモニタリングを実施している。また、6か月を待たずに個々の子ども・保護者様に変化があった場合、計画書の変更、追加を保護者様に確認してもらい新しい計画書作成を行っている。	お子様の意思の表出・形成・表明・実現の過程を大切に、適切なアセスメントができるよう取り組んでいきたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		6	0	アセスメントシートを活用し、保護者様との面談で日々の支援内容や成果、課題目標を共有し支援計画を作成しています。支援者会議において職員間の意見交換や支援内容の確認に努め、計画内容については保護者様に説明し交付している。	『こどもの最善の利益』を念頭に考えて作成するように努めます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		6	0	作成された計画書の内容は職員全員に伝わるよう確認してもらう。また、毎日計画書に沿った支援実施後の様子の検証を行うミーティングを実施している。	常勤非常勤問わずに全職員に放課後等デイサービス計画を熟読・確認してもらうように留意している。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	利用時に個々の連絡帳へ様子を記載、控えを保存している。自宅送迎時に保護者様と対面で伝えている。普段の様子との変化があった場合等、朝のミーティングで話し合っている。	職員の経験の差や関わる際の対応の違いなどあるため、どの職員も同じ支援ができるか、職員にあった支援の方法も考えていく必要がある。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	全ての項目について計画書に記載している。また、朝のミーティングなどで出た子どもに対する情報に合わせて計画書の更新を実施している。その後、保護者様に確認して頂いている。	保護者様が感じている困りごとや気になる事等、また、子ども希望を常に確認しながら、ねらいや支援内容を決定していく事を続けていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	時間のある限り職員全員で話し合うようにしており、活発に意見が出せるように、風通しの良い職場環境作りに努めている。	職員会議を有効的に使い意見交換を行い、立案しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	子どもの特性や状況により、出来ること、難しいことを考え、皆が楽しく参加できるように工夫している。	お出かけ（外出）、季節イベント（ハロウィン、クリスマス等）など多く取り入れて固定化しないように意識をしている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	基本的に個人（個別）で学習に取り組んでいる。一方でソーシャルスキルトレーニングや集団遊び（ゲーム）では集団活動で行っている。子どもの状況に応じて臨機応変に適宜組み合わせるようにしている。	全職員間で様々な意見を出し合い、個別活動・集団活動を組み合わせた上で支援を行っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	お子様が来所する前に職員の打ち合わせ（朝礼）を行っている。個別の学習内容のみではなく、お子様の様々な情報について共有し理解を深めている。	非常勤職員に対しての情報共有を確実にしていくことを留意している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	活動後にミーティングを行い支援を確認しあいながら振り返りを行い、次の支援に繋げている。	その日の終了後は早急な課題を挙げ、次の日のミーティングで話し合う。これを継続していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	利用した日の支援報告として、お子様のその日の様子やどんな学習をしたか等をサービス提供記録として、毎回連絡帳（複写）に記入している。他の職員も閲覧ができ、その子を理解するために役立てている。	記録を確実にとった上で、支援の検証および改善に努めていきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	最低6ヶ月に1度は実施している。また、職員でのミーティング等により個々の子ども・保護者様に対して変化があった場合、計画書の変更、追加を保護者様に確認してもらい新しい計画書作成を行っている。	日々の様子の確認を続けていき、目標の達成度や様子の変化を計画書に反映させ、支援をおこなっていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	日々の活動に「4つの基本活動」を取り入れて支援を行っています。多様な遊びや経験ができるようなプログラムを組み立てていきます。	意欲的に関われる遊び、運動等での成功体験で自己決定を促しながら取り組んで行く。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	提供活動は一つに絞らず、常に選択できる環境を整えております。また、自己決定できるまでのプロセスを大切にしながら支援を行っています。	遊びや様々な活動を通して、子ども同士が関わりの中で自己選択や自己決定ができるよう職員が適宜支援してまいります。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	サービス担当者会議は児童発達支援管理責任者が参加し、意見交換や情報提供をさせて頂いております。	現場で主に担当している支援員も参加したいが、子どもを受け入れている時間帯と会議開催時間が重なり、参加できていない現状である。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	体制を整えている。連絡や会議があった際には、必要に応じて情報提供、情報共有をしています。	こちらからのアプローチが難しく、積極的ではない。今後は連携した支援を行っていくよう関係機関への情報提供に努めます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	保護者様とは連絡帳記入で共有。学校のホームページ等で行事等確認している。送迎時や緊急時の連絡調整はLINEにて迅速に行っている。	引き続き必要な連絡調整を行ってまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	相談支援員に対して情報共有を図っている。	必要時に、関係機関にも適宜声かけし、情報共有に努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3	聞き取りや担当者会議等、求めがあれば必ず応じている。保護者様には情報を提供する準備がある事を伝えている。	求められる事が少ないように思う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	相談支援員様に相談したり助言をいただいたりしている。	特定の利用者様についての相談や助言のみになっている。こちらから積極的にアプローチしていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	放課後児童クラブや児童館との交流はありませんが、地域の公園に遊びに出かけた際にその場にいるお子様と一緒に遊ぶ機会を持ちたいと考えている。	今後地域の公園に遊びに行く際にその場にいるお子様と一緒に遊ぶ機会を持てるようになっていきます。

	33	(自立支援)協議会等積極的に参加しているか。	2	4	今の所参加はしていない。	今後参加の検討を行ってまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時には保護者様に当日のお子様の活動内容やご様子をお伝えするようにしています。	送迎時の情報共有や、定期的な聞き取りを継続していきます。またそれ以外でも、ご希望がある際には面談を通して共通理解に努めます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	外部イベント等のお知らせをしている。	事業所主催のイベントは保護者会のみとなっている。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に説明をしている。記載事項に変更の箇所が生じた場合は都度説明している。	分かり易い丁寧な説明ができるよう、職員の資質向上に努めます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	モニタリング時に保護者様の意向やご意見、相談や困りごとを聞き、職員で話し合う。追加の情報が必要な場合などに個人面談の機会を提案させて頂き実施している。	児童発達支援管理責任者、担当者、保護者様間のグループLINE等も活用しながら、迅速に保護者様の相談や助言等を行っていき、子ども本人の意向の沿った支援へとつなげていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	保護者様へ放課後等デイサービス計画の内容をお伝えし同意を頂いております。	お子様の状況や課題、ニーズに合わせて作成し、少しでも不安のない中ですすめられるように説明していきます。計画の様式も変更になっているため五領域を含めより丁寧な説明をするよう努めます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	モニタリング、面談、送迎時の会話、連絡帳などで相談や悩みを聞き、必要な助言、支援をおこなっている。	どの保護者様からも「相談しやすい」「相談してみよう」と思われるような関係を築いていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6	1年に一度保護者会を開催するようにしている。	保護者会は開催しているが、きょうだい参加ではない。きょうだい同志の交流の機会を設けるのは難しい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	迅速に対応させていただいている。	管理者・児童発達支援管理責任者が迅速に対応できるよう心掛けている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	Instagramを用いて、随時活動内容を発信している。その際、顔を含めて個人が特定されないように配慮している。	ホームページでも定期的にブログ等をあげて更新してまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人ファイルや書類は全て鍵のついた書庫に保存している。書類を破棄する際は必ずシュレッダーを使っている。PCはPINコードを入力で開くようにしている。	個人情報の取り扱いには細心の注意を払っている。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	お子様の発信方法等に合った聞き取りができるように型にはめずお話を聞くよう心掛けている。	言葉・文字と保護者様や利用児童に合わせ、伝達の方法を選び、丁寧な言葉使いや会話のスピードに注意を払いたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	地域の方との問題はない。招待する機会はないが、声をかけられた時は参加できる。	コロナ禍もあり地域の方々を招待することはできていなかった。機会をみて地域活動の実施に向けて努めてまいります。
非常時等の	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	4	各種マニュアルは策定できている。	マニュアルは策定できているが、検証・改善等の時間を作れていない。職員には周知できているが、保護者様には周知できていない。定期的な訓練の実施を図っていく。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	0	6	BCPは策定できている。	策定はできているが、検証・改善等の時間を作れていない。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時、新年度時にモニタリングシートを配布し、保護者様に記入して頂いている。状況が変わる毎に情報をいただいている。	服薬内容の変更等の適宜聞き取りを行い、最新情報の共有に努めます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	契約時、新年度時にモニタリングシートを配布し、保護者様に記入して頂いている。状況が変わる毎に情報をいただいている。	全職員が非常時に確認できる方法を考える必要がある。また、おやつ提供をしているので細心の注意を払っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全管理マニュアルに基づき、日々の環境整備にて点検作業を実施しております。	定期的な研修や訓練ができていない。計画し実行したい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2	安全管理に関する事項について、日ごろから職員間で共有しています。	職員間での周知にとどまっており、今後は保護者様への周知にも努めます。

対 応	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットがあった際には、朝礼時やヒヤリハット用紙に詳細記入で職員間で共有して同じヒヤリハットが起こらないように留意しております。月に一度の職員会議の場でも議題の一つにあげるようになっています。	P D C Aサイクルが上手くいかない時がある。P D C Aサイクルの意味を浸透させ、改善すべき事に対する考え方等、再学習していく必要がある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	定期的に虐待防止に関する研修（社内・社外）に参加し、職員全体に情報共有している。	引き続き、定期的な虐待防止研修への参加を継続し、虐待防止への取り組みを行ってまいります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	3	契約時に説明をしている。「どの行為があてはまるのか？」やむを得ず行った場合「どのような場面で？」「どのような方法で？」「どれくらいの時間？」行ったかの報告書を作成して保護者様に確認していただきます。個別支援計画書への記載も行います。常に子ども達に対して身体拘束を行わなくていい環境や対応を考えています。	子ども達が落ち着ける方法として視覚的な提示や声のかけかた、大人との関わり方等、対象となりうる子どもと関わる職員など総合して方法を考え、職員で共有していく必要がある。